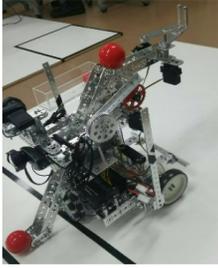
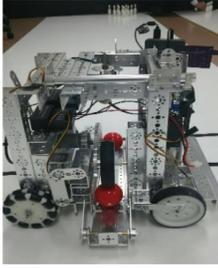


情報電子工学科 学会発表

【発表者について】 ○は発表者

学会名	第28回日本産業技術教育学会関東支部大会
演題名	myRIOを用いたWRO世界大会用ロボット設計・製作 －WRO2016ニューデリー大会対策ロボット－
発表者	○小林賢裕[1]、阿由葉拓希[1]、蓮田裕一[2]、波江野勉[2]、大森康司[2] [1]帝京大学工学部情報電子3年 [2]帝京大学工学部
内容	WRO大学生の部は2015カタル大会でUniversity Category として正式競技に位置づけられ、2016年からは名称をAdvanced Robotics Challenge(ARC) と変更し、従来の競技レベルとは一線を画する画像認識によるロボット制御をテーマにした内容にレベルアップしている。本研究ではARC競技用にNI社myRIOを用いた自律型ロボットの設計製作について2種類のロボットの特性とセンサ類の問題点と改善方法を報告している。2015大会の37チームの自律型ロボットの特徴と今後のロボットに要求される制御技術を解説している。
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>(a)重力を利用 設計製作したロボット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(b)モータの回転を利用 設計製作したロボット</p> </div> </div>